

- 65.また、「主よ、地獄の懲罰をわたしたちから追払って下さい。本当にあの懲罰は、苦し・の極・です。
- 66.本当にそれは悪い住まいであり、悪い休・所です。」と言う者である。
- 67.また（財迂を）使う際に浪費しない者、また吝嗇でもなく、よくその中間を保つ者。
- 68.アッラーとならべて、外のどんな神にも祈らない者、正当な理由がない限り、アッラーが禁じられた殺生を犯すことなく、また姦姪しない者である。だが凡そそんなことをする者は、懲罰される。
- 69.復活の日には懲罰は（罪に応じ）倍加され、その（地獄で）屈辱の中に永遠に住むであろう。
- 70.悔悟して信仰し、善行に励む者は別である。アッラーはこれらの者の、いろいろな非行を変えて善行にされる。アッラーは寛容にして慈悲深くあられる。
- 71.悔悟して善行に勤しむ者は、本気でアッラーに悔いている者である。
- 72.嘘の証言をしない者、また無駄話をしている側を通る時も自重して通り過ぎる者。
- 73.また話題が主の印に及べば聾(哑?)者か盲人であるかのように、戯らに知らないふりをしない者。
- 74.そして、「主よ、心の慰めとなる妻と子孫をわたしたちに与え、主を畏れる者の模範にして下さい。」と（祈って）言う者。
- 75.これらの者は、その耐え忍んだことにより高い階位の住まいをもって（樂園の中に）報われよう。またそこで歓迎と挨拶の言葉をもって迎えられよう。
- 76.そこに永遠に住むのである。何とよい住まい、何とよい休・所であることよ。
- 77.（不信者に）言ってやるがいい。「あなたがたがわたしの主に祈らないなら、かれはあなたがたを、構って下さらないであろう。あなたがたは本当に（主を）嘘つき呼ばわりしたが、やがて免れられない（懲罰が）下るであろう。」

## SURA 26.詩人たち章〔アッ・シュアラーウ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.ター・スィーン・ミーム。
- 2.これは明瞭な啓典の印である。
- 3.かれらが信者になろうとしないため、あなたは多分、死ぬ程苦悩していることであろう。
- 4.もしわれがそのつもりとなり、天から印を下せば、かれらはそれに恐れ入って謙虚になるであろう。

- 5.だが、慈悲深き御方からかれらに新しい訓戒が（時？）される度に、かれらはいつも背き去る。
- 6.かれらは（それを）嘘であるとする。だが今にその愚弄することが、其実となって、かれらに降りかかるのである。
- 7.かれらは、かの大地を見ないのか。如何に多くの、凡ての尊いものを、われはそこで育てるかを。
- 8.本当にその中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 9.本当にあなたの主、かれは偉力ならびなく慈悲深い御方である。
- 10.あなたの主がムーサーに呼びかけ、こう仰せられた時を思いなさい。「不法な民の許に行け。
- 11.フィルアウンの民の許に。かれらは主を畏れないのか。」
- 12.かれは申し上げた。「わたしの主よ、かれらがわたしを(蟻?)付き呼ばわりすることを恐れます。
- 13.わたしの胸は圧迫され、またわたしの舌は(艇?)れます。ですからハールーンを、遣わし（助け）て下さい。
- 14.また（その上）かれらは、わたしに罪を科しているので、わたしを殺すのを恐れます。」
- 15.かれは仰せられた。「決してそうではない。あなたがた両人は、わが印を持って行け。本当にわれは、あなたがたと一緒にいて、聞いているのである。
- 16.それであなたがた両人は、フィルアウンの許に行って言ってやるがいい。『わたしたちは、万有の主から遣わされた使徒であるから、
- 17.イスラエルの子孫を、わたしたちと一緒に行かせて下さい』と。」
- 18.かれは言った。「あなたは幼少の時、わたしたちの間で育てられたではないか。あなたの生涯の多くの年月を、わたしたちの間で過ごしたではないか。
- 19.それなのにあなたは酷いことをしでかしたものだ。あなたは恩を忘れる者の仲間である。」
- 20.かれ（ムーサー）は言った。「わたしが、それを行ったのは邪道に踏・迷っていた時のことである。
- 21.それでわたしは恐ろしくなって、あなたがたから逃げだした。だが、主はわたしに知識を授けて、使徒の一人となされたのである。
- 22.あなたはイスラエルの子孫を奴隷としておきながら、それがわたしに好意を示す恩恵であるともいえるのですか。」
- 23.フィルアウンは言った。「万有の主とは、何ですか。」

- 24.かれ（ムーサー）は言った。「天と地、そしてその間の凡ての有の主であられます。あなたがたがもし（これを）悟ったならば。」
- 25.かれ（フィルアウン）は、左右の者に向かって言った。「あなたがたは聞きましたか。」
- 26.かれ（ムーサー）は言った。「あなたがたの主、また昔からのあなたがたの祖先の主でもあられます。」
- 27.かれ（フィルアウンは左右の者に）言った。「あなたがたに遣わされたこの使徒は、本当に気違いです。」
- 28.かれ（ムーサー）は言った。「東と西、またその間にある万有の主であられます。あなたがたがもし理解するのであれば。」
- 29.かれ（フィルアウン）は言った。「あなたが、もしわたし以外に神を立てるならば、わたしは必ずあなたを囚人にするでしょう。」
- 30.かれ（ムーサー）は言った。「わたしがもし、明白な何物かを、あなたに（有？）してもですか。」
- 31.かれ（フィルアウン）は言った。「あなたの言うことが本当なら、それを示しなさい。」
- 32.それで（ムーサー）は杖を投げた。見るがいい。それは明らかに蛇となる。
- 33.またかれの手を差し伸べると、見るがいい。それは誰が見ても真っ白である。
- 34.かれ（フィルアウン）は左右の長老たちに言った。「本当にこれは、老練な魔術師である。
- 35.かれはその魔術で、あなたがたをこの国から追い出そうとしている。それであなたがたはどうしようというのか。」
- 36.かれらは言った。「（久しく）かれとその兄弟を待機させ、使いの者を諸都市に遣わし、
- 37.凡ての老練な魔術師をあなたの許に召し出されよ。」
- 38.そこで魔術師たちは、決められた日の決められた時刻に集められた。
- 39.また民衆に向かって、「あなたがたは（全部）集合したのか。」と告げられた。
- 40.（人びとは言う。）「魔術師の方が勝てば、わたしたちはかれら（の教え）に従おうではないですか。」
- 41.魔術師たちはやって来るなり、フィルアウンに言った。「わたしたちが勝てば、必ず褒美があるでしょうか。」
- 42.かれ（フィルアウン）は言った。「勿論である。その場合あなたがたは、必ず側近となろう。」
- 43.ムーサーはかれらに向かって言った。「あなたがたの投げるものを、投げなさい。」

- 44.そこでかれらは、縄と杖を投げて言った。「フィルアウンの御威光に誓けて、わたしたちは必ず勝利者になろう。」
- 45.その時ムーサーが杖を投げると、見るがいい。それはかれらの捏造したものを、呑・込んでしまった。
- 46.そこで魔術師たちは、さっと伏しサジダして、
- 47.言った。「わたしたちは、万有の主を信じます。
- 48.ムーサーとハールーンの主を。」
- 49.かれ（フィルアウン）は言った。「あなたがたは、わたしの許しも得ないうちにかれを信じるのか。きつとかれは、あなたがたに魔術を教えた、あなたがたの首長であろう。だが、やがて思い知るであろう。わたしは必ずあなたがたの手と足を粟い違いに切断し、あなたがたを、凡て磔の刑にするであろう。」
- 50.かれらは言った。「構いません。わたしたちは、自分の主の許に帰るだけですから。
- 51.わたしたちの願いは、只主が、わたしたちの数々の過ちを赦され、わたしたちが信者たちの先がけになることです。」
- 52.われはムーサーに、「わがしもべたちと一緒に、夜の間旅立。あなたがたは必ず追手がかかるであろう。」と啓示した。
- 53.その時フィルアウンは、使いの者を諸都市に遣わし、
- 54.(言させた)「これらの者は、ほんの少数の群れに過ぎないのです。
- 55.かれらは、わたしたちに腹を立てているでしょうが、
- 56.わたしたちは、警戒を整え、軍勢も多いのです。」
- 57.それでわれは、かれらを果樹園や泉から追い出し、
- 58.財宝や荣誉ある地位から追放した。
- 59.そんな次第であった。そしてわれはイスラエルの子孫たちに、これらのものを（外の所で）継がせた。
- 60.さてかれら（フィルアウンの軍勢）は日の出の時、かれらを追って来た。
- 61.両者が粟いに姿が見えるようになると、ムーサーの仲間は言った。「わたしたちは、必ず追いつかれるであろう。」
- 62.かれ（ムーサー）は言った。「決して、決して。本当に主はわたしと共におられます。直ぐに御導きがあるでしょう。」
- 63.その時、われはムーサーに啓示した。「あなたの杖で海を打て。」するとそれは分れたが、それぞれの割れた部分は巨大な山のようにであった。

- 64.われはまた、外の群をそこに誘き込んだ。
- 65.そしてわれは、ムーサーそしてかれと共にいた人びと凡てを救った。
- 66.だが他の者たちを、溺れさせた。
- 67.本当にこの中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 68.本当にあなたの主は偉力ならびなく慈悲深くあられる。
- 69.イブラーヒームの物語をかれらに語りなさい。
- 70.かれが父親とかれの人びとに向かって、「あなたがたは何を崇拜するのですか。」と言った時を思い起しなさい。
- 71.かれらは言った。「わたしたちは偶像を崇拜し、いつもこれに仕えるのです。」
- 72.かれは言った。「あなたがたが祈る時かれら（偶像）は聞くのか。」
- 73.またかれら（偶像）は、あなたがたを益するのですか、それとも害するのですか。」
- 74.かれらは言った。「いや、わたしたちの祖先が、こうしているのを見たのです。」
- 75.かれは言った。「それならあなたがたは、あなたがたが今迄崇拜してきたものに就いて考えて・たのですか。」
- 76.あなたがたも、昔の祖先たちも（崇拜していたものに就いて）。
- 77.万有の主を除いては、かれらはわたしの敵です。
- 78.かれはわたしを創られた方で、わたしを導かれ、
- 79.わたしに食料を支給し、また飲料を授けられた御方。
- 80.また病気になれば、かれはわたしを癒して下さいます。
- 81.わたしを死なせ、それから生き返らせられる御方。
- 82.審判の日には、罪過を御赦し下されるよう、わたしが願望望む方である。
- 83.主よ、英知をわたしに授け、正しい者たちの仲間に入れて下さい。
- 84.わたしを後々の世まで真実を伝えた者として下さい。
- 85.わたしを至福の園を継ぐ者になされ、
- 86.わたしの父を御赦し下さい。本当にかれは迷った者の仲間ですが。
- 87.また（人びとが）復活させられる日に、わたしの面目を失わせないで下さい。
- 88.その日には、財宝も息子たちも、役立ちません。
- 89.ただ汚れのない心を、アッラーに捧げる者だけは別ですが。」
- 90.楽園は、主を畏れる者に近付けられ、

- 91.邪道に迷った者には、火獄が現われよう。
- 92.そしてかれらは言われよう。「あなたがたが、崇めていた（神々）は何処にいるのですか。
- 93.アッラーを外にして（拝していたもの）はあなたがたを助けられるのですか、または自分自身を助けられるのですか。」
- 94.そこでかれらも誘惑した者たちも、その中に投げ込まれる。
- 95.またイブリース（悪魔）の軍勢も全部一緒に。
- 96.かれらはそこで、口論して言うであろう。
- 97.「アッラーに誓って言います。わたしたちは明らかに誤っていたのです。
- 98.万有の主と同位に、あなたがたを配したのですから。
- 99.わたしたちを迷わせたのは、罪深い者たちに外ならない。
- 100.それでわたしたちには、誰も執り成す者もなく、
- 101.一人の真の友もないのです。
- 102.わたしたちがもう一度返ることが出来るなら、本当に信者の仲間に入るのですが。」
- 103.本当にこの中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 104.本当にあなたの主は偉力ならびなく慈悲深くあられる。
- 105.ヌーフの民も、使徒たちを信じなかった。
- 106.かれらの同胞のヌーフが、かれらに言った時を思い起しなさい。「あなたがたは、主を畏れないのですか。
- 107.本当にわたしは、あなたがたへの誠実な使徒です。
- 108.それでアッラーを畏れ、わたしに従いなさい。
- 109.わたしは、それに対しあなたがたに報酬を求めません。わたしへの報酬は、只万有の主から（いただく）だけです。
- 110.だからアッラーを畏れ、わたしに従いなさい。」
- 111.かれらは言った。「最も卑しい者たちがあなたに従っているというのに、わたしたちまであなたを信じるのですか。」
- 112.かれ（ヌーフ）は言った。「かれらが行っていることに就いて、わたしが何を知りましょうか。
- 113.かれらの清算は、只わたしの主に属するのです。もしあなたがたが理解するならば。
- 114.またわたしは、信仰する者たちを追い払いません。

- 115.わたしは公明な一人の警告者に過ぎないのです。」
- 116.かれらは言った。「あなたが止めないなら、ヌーフよ、必ず石打ちにされるでしょう。」
- 117.かれは（祈って）言った。「主よ、本当にわたしの民はわたしを嘘付きであると申します。
- 118.それでわたしとかれらの間を、確り御裁き下され、わたしと、わたしと一緒にの信者たちを救って下さい。」
- 119.そこでわれはかれと、かれと一緒にの者たちを、満戦した舟の中に救ってやった。
- 120.それからわれは後に残った者たちを溺れさせた。
- 121.本当にこの中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 122.本当にあなたの主、かれは偉力ならびなく慈悲深くあられる
- 123.アード（の民）も、使徒たちを嘘付きであるとした。
- 124.かれらの同胞のフードがかれらに言った時を思い起せ。「あなたがたは主を畏れないのですか。
- 125.本当にわたしは、あなたがたへの誠実な使徒です。
- 126.だからアッラーを畏れ、わたしに従いなさい。
- 127.またわたしは、このことでああなたがたに報酬を求めません。わたしへの報酬は、只万有の主から（いただく）だけです。
- 128.あなたがたは高地という高地に悪戯に碑を建ててるのですか。
- 129.またあなたがたは（永遠に）住もうとして、堅固な高樓を建ててるのですか。
- 130.あなたがたは暴力を振う時、暴虐者のように振舞うのですか。
- 131.アッラーを畏れ、わたしに従いなさい。
- 132.あなたがたが知る程のものを、授けられる方を畏れなさい。
- 133.かれは数々の家畜と子孫を、あなたがたに授けられ、
- 134.また果樹園や泉をも授けられた。
- 135.わたしはあなたがたに加えられる偉大な日の懲罰を本当に恐れる。」
- 136.かれらは言った。「あなたが説教しても説教しなくても、わたしたちにとっては同じことです。
- 137.本当にこれは、昔のやり方に外なりません。
- 138.わたしたちは懲罰されないのです。」

- 139.かれらは、かれを嘘付きであるとした。そこでわれはかれらを滅ぼした。本当にこの中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 140.本当にあなたの主は偉力ならびなく慈悲深い御方であられる。
- 141.サムード（の民）も、使徒たちを嘘付きであるとした。
- 142.かれらの同胞サーリフが、かれらに言った時を思い起しなさい。「あなたがたは主を畏れないのですか。
- 143.本当にわたしは、あなたがたへの誠実な使徒です。
- 144.だからアッラーを畏れわたしに従いなさい。
- 145.わたしはあなたがたにこのことで報酬を求めない。わたしへの報酬は、只万有の主から（いただく）だけです。
- 146.あなたがたはここで、いつまでも安泰でいられますか。
- 147.果樹園や泉、
- 148.穀物畑や、見事な若実を付けるナツメヤシの園、
- 149.また（岩）山に、あなたがたが巧・に家を切り穿っても（安泰であり得ようか）。
- 150.だからアッラーを畏れ、わたしに従いなさい。
- 151.あなたがたは、無法な常軌を逸した者の命令に、従ってはなりません。
- 152.かれらは地上に危害を引き起す者で、（悪弊を）矯正する者ではありません。」
- 153.かれらは言った。「あなたは(ほ?)かれた者に過ぎません。
- 154.あなたは、わたしたちと同じ一人の人間に過ぎません。あなたの言うのが本当なら、わたしたちに印を(西?)しなさい。」
- 155.かれ（サーリフ）は言った。「ここに一頭の雌ラクダがいます。それにも水飲・日があり、またあなたがたにも、（それぞれ）決められた水飲・日があります。
- 156.偉大な日の懲罰があなたがたを襲わないよう、それに害を加えてはなりません。」
- 157.だがかれらは、その臆を切って不具にし、たちまち後悔することになった。
- 158.それは懲罰がかれらを襲ったからである。本当にこの中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 159.本当にあなたの主は偉力ならびなく慈悲深い御方であられる。
- 160.ルート（の民）も使徒たちを嘘付きであるとした。
- 161.同胞ルートが、かれらに、「あなたがたは主を畏れないのですか。」と言った時を思い起しなさい。

- 162.「本当にわたしは、あなたがたへの誠実な使徒です。
- 163.だからアッラーを畏れ、わたしに従いなさい。
- 164.わたしはあなたがたにこのことで報酬を求めません。わたしへの報酬は、誰々万有の主から（いただく）だけです。
- 165.あなたがたは創造された者の中男だけに近付き、
- 166.主があなたがたのために創られた配偶者を顧・ないのですか。いや、あなたがたは罪を犯す者です。」
- 167.かれらは（答えて）言った。「いい加減止めないなら、ルートよ、あなたは必ず追放されるでしょう。」
- 168.かれ（ルートは）言った。「わたしは、本当にあなたがたの行いを忌・嫌っています。
- 169.主よ、わたしとわたしの家族を、かれらの所業から御救い下さい。」
- 170.それでわれは、かれとかれの家族を凡て救った。
- 171.後に残った、老女（ルートの妻）は別であったが。
- 172.それから、われは外の者を滅ぼした。
- 173.われは、（石の）雨をかれらの上に降らせた。警告されていた者たちには、災厄の雨であった。
- 174.本当にこの中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 175.本当にあなたの主は偉力ならびなき慈悲深き御方であられる。
- 176.森の人びとも使徒たちを嘘付きであるとした。
- 177.シュアイブがかれらに、「あなたがたは主を畏れないのですか。」と言った時を思い起しなさい。
- 178.かれ（シュアイブ）は言った。「本当にわたしは、あなたがたへの誠実な使徒です。
- 179.だからアッラーを畏れ、わたしに従いなさい。
- 180.わたしはあなたがたにこのことで報酬を求めない。わたしへの報酬は、唯々万有の主から（いただく）だけです。
- 181.計量を十分に与え、損をさせてはなりません。
- 182.正確な汗で計り、
- 183.他人のものを詐取してはなりません。また迷惑を及ぼす行いをして、地上を退廃させてはなりません。
- 184.あなたがたと前の世代の者たちを創られた方、かれを畏れなさい。」

- 185.するとかれらは言った。「あなたは(思?)かれた者に過ぎません。
- 186.あなたはわたしたちと同じ一人の人間に過ぎません。どう考えてもあなたは虚言の徒です。
- 187.あなたの言うことが真実なら、天の一角をわたしたちの上に落としなさい。」
- 188.かれ（シュアイブ）は言った。「わたしの主は、あなたがたのすることをよく知っておられます。」
- 189.だがかれらはかれを嘘付きであるとした。それであの陰惨な日の懲罰がかれらを襲った。それは本当に厳しい懲罰の日であった。
- 190.本当にこの中には、一つの印がある。だがかれらの多くは信じない。
- 191.本当にあなたの主は偉力ならびなく慈悲深い御方であられる。
- 192.本当にこの（クルアーン）は、万有の主からの啓示である。
- 193.誠実な聖霊がそれをたずさえ、
- 194.あなたの心に（下した）。それであなたは警告者の1人となるために、
- 195.明瞭なアラビアの言葉で（下されたのである）。
- 196.このことは、既に昔の啓典の中に記されている。
- 197.イスラエルの子孫の学者たちがこれを知っていることは、かれら（マッカの多神教徒）にとって、一つの印ではないのか。
- 198.われが、もしこれをアラブ以外の誰かに啓示したならば、
- 199.かれがそれを読誦しても、人びとはそれを信じなかったであろう。
- 200.このように、われは罪深い者たちの心の中に、それ（啓示の一部）を入らせた。
- 201.それでもかれらは痛ましい懲罰を見るまでは、この（クルアーン）を信じないであろう。
- 202.だがその（懲罰）は、かれらの気付かない中に突然襲いかかるであろう。
- 203.その時かれらは、「わたしたちは猶予されないのですか」と言おう。
- 204.それでもかれらは、われの懲罰を急がせようというのか。
- 205.あなたはどう思うのか、われがかれらに幾年間も（の現世の生活を）享樂させても、
- 206.なお、かれらに約束されたこと（天罰）が来るとすれば、
- 207.享樂させてもらったことが、かれらにとり何の益になろうか。
- 208.われは警告者を（前もって）遣わさずに何如なる町も滅ぼさなかった。
- 209.（また）気付かせ（た後で）なければ。われは決して不当なことを行うものではない。
- 210.また悪魔たちがこれ（啓示）を（偽？）すこともないのである。

- 211.それはかれらに相応しいものでもなく、またかれらには（そんな）能力もない。
- 212.かれらは、啓示を聞くことから遠ざけられている。
- 213.それでアッラーと一緒に、外のどんな神にも祈ってはならない。さもないとあなたも懲罰される者の仲間となろう。
- 214.あなたの近親者に警告しなさい。
- 215.またあなたに従って信仰する者には、（愛の）翼を優しく下げてやりなさい。
- 216.かれらがあなたに従わないなら、「あなたがたが行うことは、わたしに関わりはありません。」と言ってやるがいい。
- 217.偉力ならびなく慈悲深き御方に（後は）御任せしなさい。
- 218.あなたが（礼拝に）立つのを見ておられる方に、
- 219.またサジダする者たちの間での、あなたの諸動作を（も見ておられる方に）。
- 220.本当にかれは全聴にして全知であられる。
- 221.われは、悪魔たちが誰の上を下るのかあなたがたに告げようか。
- 222.かれらは、凡ての嘘付きの徒の上を下る。
- 223.（悪魔の話に）耳を選ず（者）の多くは嘘付きの徒である。
- 224.また詩人たちのことだが、（悪魔に）唆かされた者たち（だけ）が、かれらに従う。
- 225.あなたは、かれらが凡ての谷間をさ迷い歩くのを見なかったのか。
- 226.またかれらは、自分の行いもしないことを口にするではないか。
- 227.信仰して善行に動しむ者、またアッラーを多く唱念し、迫害された後には自らを守る者は別である。不義を行った者たちは、どんな変り方で、移り変っていくかを、やがて知ることになろう。

## SURA 27.蟻章 [アン・ナムル]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.ター・スィーン。これはクルアーンの印（凡ての事物を）明瞭にする啓典の印であり、
- 2.導き、信者への吉報である。
- 3.かれらは礼拝の務めを守り、定め喜捨をなし、堅く来世を信じる者である。
- 4.われは来世を信じない者には、自分の行いを（一見）立派に見えるようにした。それで、かれらは(舷?)惑されさ迷う。
- 5.これらは悪い懲罰が科せられる者で、来世においては、かれらこそ最大の失敗者であろう。